

～育てよう！ 強く明るい えひめの子～

青少年育成だより



第42回少年の主張全国大会で「国立青少年教育振興機構努力賞」を受賞した
愛媛県代表の山本彩羽さん（篠山小中学校組合立篠山中中学校）

※全国大会がWEB開催となったため、写真は愛媛大会時のものです。

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。

愛媛県青少年育成協議会・愛媛県

〒790 - 8570 松山市一番町四丁目4 - 2 (県庁県民生活課内)

TEL 089 (912) 2336

青少年の非行・被害防止県民大会の開催

愛媛県青少年育成協議会では、県民の皆様に青少年の非行、被害防止の意識を高めていただくとともに、県民総ぐるみによる青少年の健全育成を推進していくために、県、県教育委員会、県警察本部と共催し、10月28日(水)「青少年の非行・被害防止県民大会」を愛媛県生涯学習センター(松山市上野町)で開催しました。

大会では、様々な社会貢献活動等で功績のあった団体、個人に対する「優良青少年団体及び青少年知事表彰」の授賞式や、当協議会野間会長による「大会宣言」などの式典、NPO法人なら地域の学び推進機構理事・京都府警察ネット安心アドバイザーの石川千明氏を講師にお招きして、「After/With コロナ時代の現状と子どもたちにできること」と題した講演を行いました。

【大会の様子】



【主催者挨拶】
愛媛県知事
(代読) 愛媛県県民環境部
部長 岸本 憲彦



【大会宣言】
愛媛県青少年育成協議会
会長 野間 逸元

【優良青少年団体知事表彰】

- 高校生ボランティアサークルM a y (式典欠席)
- 愛媛県立上浮穴高等学校ライフデザイン部
- 大洲市立栗津小学校和太鼓クラブ
- 和太鼓集団和達
- 鬼北町立日吉小学校武左衛門太鼓クラブ



【優良青少年知事表彰】

○富永 優羽 ○石倉 勘太 ○山田 健介



【講演】

石川 千明 氏



【優良青少年団体及び青少年知事表彰受賞者】

●団体の部

団体名（所在地）	代表者	功績の概要
<p>高校生ボランティア サークルM a y (新居浜市)</p>	<p>藤田 杏奈</p>	<p>高校生たちの経験と挑戦の場として、ボランティアを必要としている地域や団体へのボランティア活動と、年に一度、自発的な学生による地域の活性化、人材育成、様々な団体とコラボレーションし交流を深めることにより、新居浜市の魅力の発見を促すイベント「私たちが創る未来へ」を主催しており市の地域振興に寄与している。</p> <p>行政と連携した市政だより「まちの話題」の取材や、重要文化財広瀬邸での特別事業にも参加するほか、障がい者団体の大会補助やイベント補助にも力を入れている。</p>
<p>愛媛県立上浮穴高等学校 ライフデザイン部 (久万高原町)</p>	<p>猪森 琴羽</p>	<p>平成21年の創部以来、地域の特産物を活用した料理を考案し、料理コンテストに継続して出品することで、愛媛県や久万高原町の魅力を生徒自身が再確認するとともに、特産品や学校の魅力を全国へPRしている。</p> <p>学校の近隣にある久万幼稚園を訪問し、塗り絵や読み聞かせ、生徒考案のゲーム等を通して園児との交流を図っている。</p> <p>平成24年度から久万高原町立図書館において開催されている「おはなし会」にボランティアメンバーとして参加し、毎月、絵本や紙芝居の読み聞かせを行うことで、地域の子どもたちとの交流促進に取り組んでいる。</p>
<p>大洲市立粟津小学校 和太鼓クラブ (大洲市)</p>	<p>長田 和華</p>	<p>長期にわたり、学校行事だけではなく、地域行事においても太鼓演奏を披露しており、地域活性化に貢献している。</p> <p>粟津祇園太鼓保存会の方に指導してもらい、地域行事等で演奏することで、伝統芸能の継承と発展に寄与している。</p> <p>当該クラブで活動していた子どもたちが粟津祇園太鼓保存会に入会し演奏活動を続けるなど、地域文化を受け継ぐ人材の育成にもつながっている。</p>
<p>和太鼓集団和達 (内子町)</p>	<p>立花 悠</p>	<p>地域の方や他の和太鼓演奏団体と連携しながら、県内外各地のイベントに年間25回程度出演するなど、イベントを盛り上げるため重要な役割を担っている。</p> <p>内子座などの地域資源を活用し演奏活動を行うことで、地域の魅力をより多くの人に発信することができ、地域活性化に寄与している。</p> <p>内子高校にて部活動の指導を行い、若い演奏者の支援・育成に取り組むことで、地域文化として和太鼓演奏を継承することに尽力している。</p>
<p>鬼北町立日吉小学校 武左衛門太鼓クラブ (鬼北町)</p>	<p>橋本 天馬</p>	<p>長年にわたり町内の各種イベントに参加し演奏を行うことで、イベントの盛り上げに貢献し、地域活性化の一助になっている。</p> <p>郷土の偉人である武左衛門の偉業を表現した和太鼓演奏は地域の伝統文化になっており、幅広い世代に武左衛門伝えるために重要な役割を担っている。</p>

●個人の部

氏名	功績の概要
<p>富永 優羽 (西条市)</p>	<p>中学校入学後、吹奏楽部でのボランティア活動を通して、他者のために積極的に行動していた。</p> <p>高校入学後はボランティア活動を活発にしたいと思い、自ら様々なボランティア活動に参加し、他の生徒の模範となっていた。</p> <p>主に、高校での生徒会活動、西条市ハロウィンパーティボランティア、西条市藻場づくり環境保全会植林活動、民家の甲子園、高校生記者活動、西条市産業文化フェスティバルボランティア、防災士取得、stone hammer fes, 2019 ボランティア、西日本豪雨災害復興ボランティア、日本西リジョンプロジェクトガールズ・サミット参加など、幅広く活動しており、現在も在校生に対し、適切なアドバイスを行うなど積極的にボランティア活動に参加している。</p>
<p>石倉 勘太 (松野町)</p>	<p>平成23年(小学3年生)から、地元の和太鼓チーム「松野鬼城太鼓」が指導する小中学生チーム「森風(しんぷう)」に所属し、週1回の練習に熱心に参加し、当時から中心的メンバーとして活躍していた。</p> <p>小学校高学年になると、練習や演奏だけでなく楽器の準備や片付けにおいても後輩たちに的確な指示を出すなど、リーダーとしての資質も磨いてきた。</p> <p>高校生からは「松野鬼城太鼓」のメンバーに加わり、学業、部活動を続けながら活動に参加している。町内の活動だけでなく県内外の演奏活動にも参加し、伝統文化の継承及び振興に努めてきた。(演奏活動は多い年度には約30件、入会当時から150件程度の演奏活動に参加している。)</p>
<p>山田 健介 (松野町)</p>	<p>差別をなくすための学習や啓発活動をしている「あおぞら子ども会」に小学4年生から所属し、中学3年生になるとリーダーとして、人権問題について学習していた。所属中学校でも、生徒会長としていじめを生まない学校にする活動や身のまわりの差別をなくす活動に熱心に取り組むとともに、現在も同会において活動中である。</p> <p>国立ハンセン病療養所「大島青松園」に毎年訪問し、入所している方々との交流を続けてハンセン病問題について知識を深めるとともに、同和問題をはじめとする様々な人権問題について様々な地域の方から話を聞き、人とのつながりから学ぶことによって、理解を深め社会に広く伝える活動をしている。</p> <p>令和元年度、愛媛県の人権啓発土曜講座の「部落問題を考えるフォーラム」及び松野町「森の国人権の集い」でのパネルディスカッションのパネラーとして参加し、大勢の県民・町民の前で自分の意見を発表し、人権啓発の一役を担い町民の意識向上へつなげた。</p>



青少年健全育成推進ブロック大会

当協議会では、青少年健全育成活動の地域への一層の普及、定着を図るため、11月の「子ども・若者育成支援強調月間」の一環として、東予・中予・南予の各市町民会議等との共催による青少年健全育成推進ブロック大会を開催しています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中予地区のみの開催となりましたが、多くの青少年育成関係者の参加のもと盛況のうちに開催され、青少年の健全育成に関するご講演のほか、長年に亘り青少年育成活動、青少年団体活動にご活躍された個人、団体の皆様のご功績を称えるため、当協議会の野間会長から感謝状を贈呈しました。

大会の様様と受賞された方々のご功績を紹介いたします。

青少年健全育成推進中予大会（久万高原町）

中予地区では、令和2年11月25日（水）に久万高原町青少年育成センター及び久万高原町教育委員会との共催により、久万高原町産業文化会館で開催しました。



● 青少年育成活動功労者等に関する会長感謝状の贈呈

当協議会野間会長から、伊予市でご活躍の1団体に対して感謝状を贈呈しました。



青少年育成活動の部（団体）
双海町ジュニアリーダー会 様



●講演 「ともに輝くいのちの尊厳 地域で支え つながり つくりだす」

聖カタリナ大学 教授 山本 万喜雄 氏



愛媛県青少年育成協議会会長感謝状受賞者

● 青少年育成活動の部 (団体) (2団体)

団体名 (所在地)	代表者	功 績 の 概 要
<p>新居浜市少年補導委員協議会 多喜浜支部 (新居浜市)</p>	<p>田窪 秀道</p>	<p>毎月1回、支部委員全員参加による定例支部会を開催し、青少年に関する情報交換や意見交換を行い、活動方針等を適宜立て、状況に応じた活動をしている。</p> <p>毎月、男性班は19時から21時まで夜間の街頭補導活動、女性班は14時～16時までの小学生の下校時間に合わせた街頭補導活動を行い、非行・犯罪行為の発見と防止に努めるとともに、通学路の安全確認や有害表示物の発見、撤去等の環境浄化活動を合わせて行っている。</p> <p>年4回、県下一斉街頭補導を実施した。</p> <p>「補導委員」のネームの入ったポロシャツ、またはジャンパーを着用したうえ巡回をし「見せる補導」を徹底し、非行の未然防止を図っている</p>
<p>カタリバ in 宇和島 実行委員会 (宇和島市)</p>	<p>二宮 史尚</p>	<p>カタリバ in 宇和島を平成23年度以降9回実施している。参加した高校生が、卒業後に大学生もしくは社会人キャストとして関わる事例やキャスト経験後もスタッフとして関わるという、青少年育成の持続的循環が起きている。</p> <p>カタリバ in 宇和島実施のための「委員会」および「キャスト人材育成研修」を実施。キャストは当日、カタリバの現場で、初めて会った中高生とナナメの関係を作り親身になって対話しなければならないため、委員会(会議)や研修を重ねている。また、キ</p>

		<p>ヤストの大半は、地域の大学生や若手社会人であり、この研修でお互いを磨きスキルアップすることで地域間のネットワークを作るとともに、青少年育成への熱意の向上や、キャリア教育へのまなざしの深化なども育まれている。</p> <p>令和2年8月11日にはオンライン対話ツールによる新たな教育環境支援及び今後の課題・可能性を探る実証実験も兼ねてWeb（リモート）カタリバを実施した。</p>
--	--	--

● 青少年育成活動の部（個人） （3名）

氏名（住所）	功 績 の 概 要
<p>藤原 説夫 （新居浜市）</p>	<p>毎月1回以上、19時から21時までの校区の夜間街頭補導を行い、非行・犯罪行為の発見と防止に努めている。</p> <p>補導委員歴32年という長きにわたって活動し、地域の補導委員にも信頼度も高く、経験を活かし新居浜市少年補導委員協議会活動の一層の発展、充実に努めた。</p>
<p>渡邊 哲満 （新居浜市）</p>	<p>毎月1回以上、19時から21時までの校区の夜間街頭補導を行い、非行・犯罪行為の発見と防止に努めている。</p> <p>新居浜市少年補導委員協議会惣開支部の副支部長として支部長の補佐を担い、支部全体の活動が円滑に進むように良くサポートをしており、重要な役割を占めている。</p>
<p>岡 憲朗 （新居浜市）</p>	<p>毎月1回以上、19時から21時までの校区の夜間街頭補導を行い、非行・犯罪行為の発見と防止に努めている。</p> <p>新居浜市少年補導委員協議会中萩支部の事務局長として支部長の補佐を担い、支部全体の活動が円滑に進むように良くサポートをしており、重要な役割を占めている。</p>

● 青少年団体活動の部（団体） （1団体）

団体名（所在地）	代 表 者	功 績 の 概 要
<p>双海町ジュニアリーダー会（伊予市）</p>	<p>中島 空</p>	<p>年10回程度開催される小学生を対象とした双海町こども教室の行事においてボランティアスタッフとして活動している。年に一度、行事内においてジュニアリーダー企画として活動内容の企画運営を行っている。</p> <p>年5～10回程度のミーティングを開催し、ジュニアリーダーをして資質向上を目指している。</p> <p>年1～2回程度ごみ拾いや花の植栽作業を行いきれいで住みよい地域を作り出す活動を実施している。</p>



毎月第3日曜日は**家庭の日**です



家庭にやすらぎと
団らんを！

家庭の日とは

次代を担う青少年を、心身ともに健やかに育てるには、明るい家庭づくりをすることが大切です。

毎日とともに過ごす家庭のすばらしさや、率直に話し合いのできる家庭のありがたさは、身近にあるために当たり前と考え、かえってその価値を見失いがちです。

そこで、愛媛県青少年育成協議会では、家庭の大切さ、家庭の役割のすばらしさについてあらためて考える機会としてもらうため、昭和47年度から、毎月第3日曜日を「**家庭の日**」と定めています。

「**家庭の日**」には、家族が集い、わが家の家庭生活について率直に話し合い、反省することで、家族みんなが愛情と信頼で結ばれた、温かい人間関係を育ててみてはいかがでしょうか。

愛媛県青少年育成協議会

〒790-8570 松山市一番町四丁目4-2

愛媛県庁県民生活課内

TEL 089-912-2336